

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2021年 4月 21日

前橋市長 あて

提出者 〒379-2155
 住 所 群馬県前橋市筑井町456番地の11
 氏 名 ヤマヨセメント(株)群馬中央生コン前橋
 代表取締役 吉森 貴志
 電話番号 027-266-3544

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ヤマヨセメント(株)群馬中央生コン前橋
事業場の所在地	群馬県前橋市筑井町456番地の11
計画期間	2021年4月1日 ～ 2022年3月31日

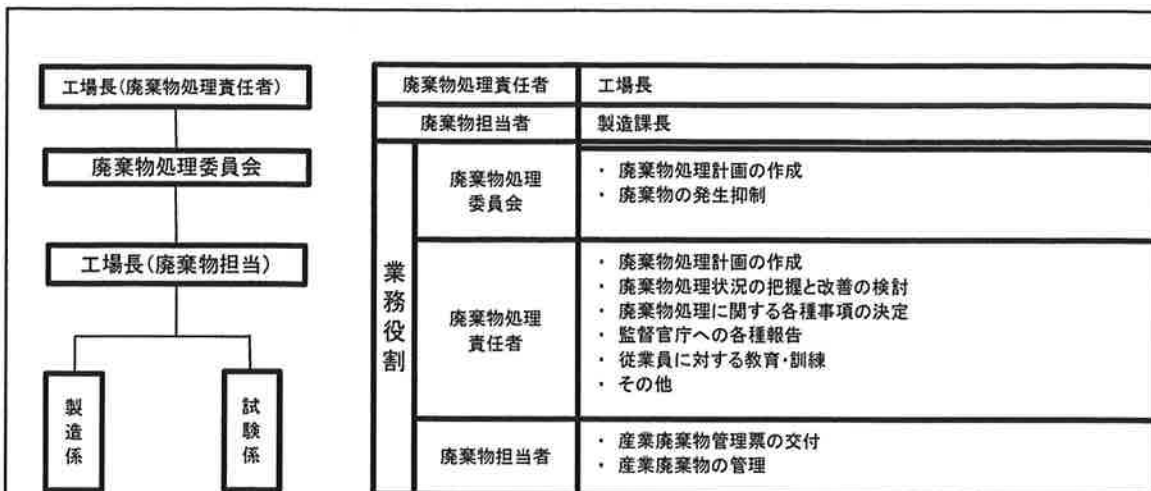
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	E21 窯業・土石製品製造業		
②事業の規模	令和2年度実績	生産量（生コンクリート） 売上金額	31,936.75 m ³ 3.64億円
③従業員数	7名		
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p style="text-align: center;">生産工程</p> <pre> graph LR A[生コン製造] --> B[運搬] B --> C[荷卸し] C --> D[戻りコン発] D --> E[コンクリートくず] </pre>		



（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
	排出量	3,510 t
	(これまでに実施した取組)	
	コンクリートくず発生源削減 ・ 工程不良品の削減 ・ 運搬中のトラブルの削減 ・ 現場からの持ち帰りの削減	コンクリートくず 3,510 t/年 (令和2年度実績)
		中間処理業者委託処分 3,510t
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
	排出量	3,000 t
	(今後実施する予定の取組)	
	・ 購入者へ産廃抑制のアピールを推進 ・ 購入者に余剰注文の削減のお願い ・ 工程中の不良品を削減	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
①現状	【前年度（ 2年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
	全処理委託量	3,510 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	3,510 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(これまでに実施した取組)	
<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル用再生骨材（40～0）の作成 ・購入者へ産廃抑制のアピールを推進 		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	
	全処理委託量	3,000 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	3,000 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>自社で中間処理及び再生を行うことは困難であるため、前年度同様に中間処理業者に委託を行うが、極力発生量を少なくするように努力する。</p>		
※事務処理欄			